



【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、12月15日現在、屋久島御崎の北0.1マイル付近にあり、接岸している。

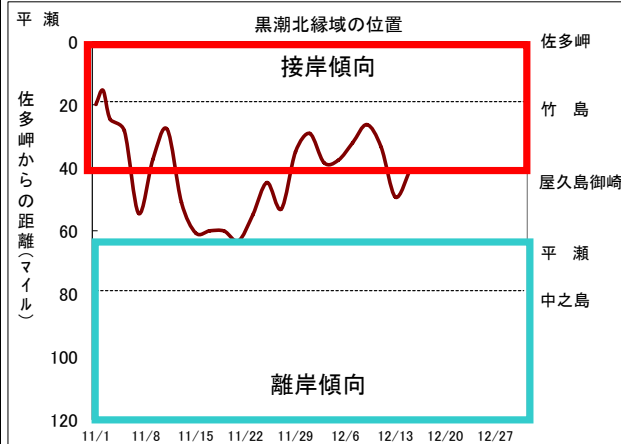
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、12月15日現在、51マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して全ての海域で0.2～1.8℃降温した。

平年比較では、甌海峡で“かなり高め”，黒潮流域で“平年並”，その他の海域で“やや高め”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	23.9	-0.9	+0.2	平年並
鹿児島	20.1	-0.2	+0.9	やや高め
佐多岬	21.2	-1.6	+0.8	やや高め
竹島	22.5	-1.3	+0.7	やや高め
屋久島御崎	23.1	-1.2	+0.8	やや高め
中之島	23.8	-0.7	+0.5	やや高め
笠利崎	23.3	-0.4	+0.4	やや高め
与路島	23.5	-0.7	+0.4	やや高め
与論	23.7	-0.2	+0.4	やや高め
甌海峡	20.8	-1.8	+1.4	かなり高め

鹿児島～那覇定期客船観測は12/15-16
串木野～甌定期客船観測は12/16

【漁況】

○定置網

甌島海域では、週計でヒラソウダ(700～800g)が1.2トン、クロマグロ(10kg)が360kg、ハガツオ(1kg)が280kg、カツオ(1kg)が80kgの入網。西薩南部海域では、チウオ(200g)が500kg/日、ゴマサハ(180g)が100kg/日、ヒラソウダ(1kg)が100kg/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、ハガツオ(1.7kg)が250～400kg/日、ヒラソウダ(1.5kg)が200～300kg/日、スマ(1.6～1.7kg)が200kg/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でヒラソウダ(1kg)が640kg、チウオ(400～500g)が100kg、イサキ(500～600g)が75kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で37統がソウダカツオ類、チウオ、カマス類主体に14トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でチウオ、マヅ、フリ主体に5.6トンの入網。

○バショウカジキ情報

定置網では、西薩南部海域で25～27kgが1日のみ3尾の入網。

○ブリ飼付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、5～6kgを1尾/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、3kgを149尾/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、3kgを50～240尾/隻・日の漁。

(旋網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2830報)

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	前週		前年同期	
							隻数	漁獲量	隻数	漁獲量
旋網	阿久根	大	6	263	マヅ小33 サハ類大21 サハ類中14	43.8	0	—	4	53
		中	5	24	甌東 阿久根沖 串木野沖 長島	4.8	9	100	5	33
	枕崎	大	4	201	志布志沖	50.3	4	124	7	460
		中	7	180	宇治 屋久島南 津倉 志布志沖	25.7	12	154	15	459
	内之浦	中	0	—		—	0	—	0	—
	山川	中	0	—		—	0	—	0	—
計	大	10	464		46.4	4	124	11	513	
	中	12	204		17.0	21	254	20	492	
東海旋網	阿久根	0	—		—	0	—	0	—	
	枕崎	1	181		181.0	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	11	16	長島 阿久根沖	カクチイワシ44 ウルメイワシ24 キビナゴ23	1.5	4	7	25	22
	内之浦	0	—		—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	37	14		ソウダカツオ類21 チウオ17 カマス類15	0.4	42	14	53	20
刺網	阿久根	32	4	牛深沖 長島 甌	キビナゴ100	0.1	33	3	32	4
カツオ竿釣	枕崎	大	1	279		—	2	521	0	—
		小	0	—		—	0	—	0	—
	海旋	0	—		—	1	737	0	—	
	山川	中	1	7		キハダ56 カツオ小42	7.0	2	23	0
海旋	1	273		カツオ小96	273.0	1	751	0	—	

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、中トビを4～5箱/統・日、大トビを1箱/統・日の漁。屋久島海域では、中トビを2～20箱/統・日、大トビを1日のみ1箱/統の漁。

○キビナゴ刺網

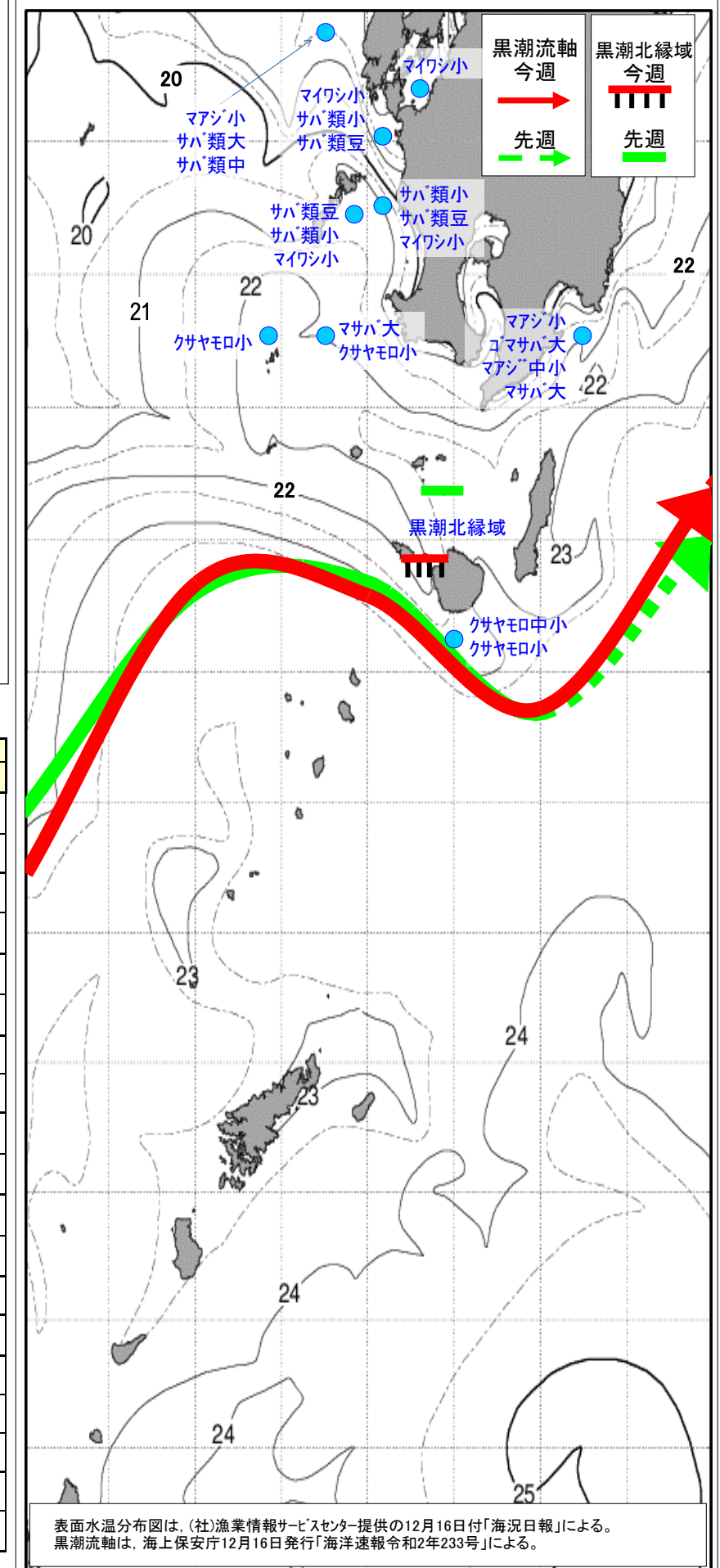
甌島海域では、4～5箱/隻・日の漁。

○パッチ網

西薩海域では、製品で10トンの入札があった。

○その他

甌島海域では、曳縄でスマ(2～3kg)を120～180kg/隻・日、ハガツオ(2～3kg)を100kg/隻・日の漁。西薩海域では、延縄でアカアマダイ(300g)を10～28kg/隻・日の漁。ごち網でチダイ(200g)を30～40kg/隻・日、マダイ(1kg)を2～30kg/隻・日の漁。一本釣りでメシナ(0.5～1kg)を5～35kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒゲナガエビを100～200kg/隻・日の漁。曳縄でスマ(1.5～2kg)を45～60kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、底曳網でカンゾウヒラメ(300～600g)を15kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの1～3日操業でデカイ(胴体のみ6kg)を1～110ハイ/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の12月16日付「海況日報」による。黒潮流軸は、海上保安庁12月16日発行「海洋速報令和2年233号」による。